

レボフロキサシン錠 250mg 「F」 レボフロキサシン錠 500mg 「F」

【この薬は？】

販売名	レボフロキサシン錠 250mg 「F」 LEVOFLOXACIN tablets	レボフロキサシン錠 500mg 「F」 LEVOFLOXACIN tablets
一般名	レボフロキサシン水和物 Levofloxacin Hydrate	
含有量 (1錠中)	250mg	500mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・細菌のDNA（デオキシリボ核酸）の複製にかかわる酵素を阻害することで、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの）、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス、コレラ、バルトロリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、炭疽、

ブルセラ症、ペスト、野兎病、肺結核及びその他の結核症、Q熱

〈適応菌種〉

本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、淋菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、炭疽菌、結核菌、大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、ペスト菌、コレラ菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、レジオネラ属、ブルセラ属、野兎病菌、カンピロバクター属、ペプトストレプトコッカス属、アクネ菌、Q熱リケッチア（コクシエラ・ブルネティ）、トラコーマクラミジア（クラミジア・トラコマティス）、肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ）、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、一回分を減らしたりしないでください。指示通りにきちんと飲まないで、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示通りに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にレボフロキサシン錠「F」に含まれる成分またはオフロキサシンで過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・小児
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓に重い障害のある人
 - ・てんかんなどのけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんなどのけいれん発作をおこしたことがある人
 - ・過去にキノロン系抗菌薬で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・心臓に重篤な障害（不整脈、虚血性心疾患など）のある人
 - ・重症筋無力症の人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
腎機能に障害のある人は飲む量が調節されます。
通常、成人の使用量および回数は次のとおりです。

「腸チフス」「パラチフス」以外の感染症

販売名	レボフロキサシン錠 250mg 「F」	レボフロキサシン錠 500mg 「F」
1 回量	2 錠	1 錠
飲む回数	1 日 1 回	1 日 1 回

「腸チフス」「パラチフス」感染症

販売名	レボフロキサシン錠 250mg 「F」	レボフロキサシン錠 500mg 「F」
1 回量	2 錠	1 錠
飲む回数	1 日 1 回 14 日間	1 日 1 回 14 日間

「肺結核及びその他の結核症」の治療では、原則として他の抗結核薬と併用されます。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合（次の飲む時間まで 8 時間未満）は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・他の抗結核薬と一緒に飲んでいる場合は、重篤な肝障害がおこることがあるので定期的に肝機能検査がおこなわれます。
- ・意識障害（気を失う、もうろう状態）などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合には、十分に注意してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（ステーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
けいれん	けいれん
QT延長 キューティーえんちよう	気を失う、動悸
心室頻拍（トルサードドポアントを含む） しんしつひんぱく	脈が速くなる、動悸、息切れ、気を失う、意識がなくなる、胸部異和感、胸の痛み
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	関節の痛み、頭痛、からだのむくみ、血尿、発熱
劇症肝炎 げきしょうかんえん	吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、判断力の低下、尿の色が濃くなる、頭痛、意識がなくなる、嘔吐（おうと）、考えがまとまらない、発熱、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ
肝機能障害 かんきのうしょうがい	吐き気、皮膚が黄色くなる、嘔吐、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、食欲不振、かゆみ、からだがだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうしょう	めまい、動悸、耳鳴り、鼻血、出血しやすい、歯ぐきの出血、あおあざができる、息切れ
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	ふらつき、立ちくらみ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、疲れやすい、褐色尿、頭が重い、めまい、からだがだるい、動く時の動悸や息切れ

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、息苦しい、発熱、から咳
好酸球性肺炎 こうさんきゅうせいはいえん	から咳、息切れ、発熱
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血が混ざった便、むかむかする、嘔吐、下痢、発熱、頻回な下痢、血の混じった下痢
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、足のしびれ、手のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、赤褐色尿
低血糖 ていけつとう	めまい、空腹感、ふらつき、手足のふるえ、脱力感、頭痛、動悸、冷や汗
アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 アキレスけんえん、けんだんれつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み、はれ、押すと痛い、うまく歩けない、歩けない
錯乱、せん妄、抑うつ等の精神症状 さくらん、せんもう、よくうつなどのせいしんしょうじょう	意識の混乱、意識が乱れる、考えがまとまらない、気分が落ち込む、不眠、気分がふさぎ込む、やる気がおきない
過敏性血管炎 かびんせいけっかんえん	関節の痛み、あおあざができる、発疹、筋肉の痛み、発熱
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりょくしょうのあつか	まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだのだるい、ふらつき、関節の痛み、脱力感、立ちくらみ、疲れやすい、押すと痛い、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、冷や汗、けいれん、からだのむくみ
頭部	頭痛、めまい、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる、意識がうすれる、意識の混乱、意識が乱れる、頭が重い
顔面	ほてり、鼻血、血の気が引く
眼	白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼と口唇のまわりのはれ、眼がはれぼったい、まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える
耳	耳鳴り
口や喉	嘔吐、吐き気、から咳、歯ぐきの出血、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、のどの痛み、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ
胸部	動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、吐き気、動く時の動悸や息切れ、むかむかする、胸の痛み、胸部異和感

部位	自覚症状
腹部	食欲不振、吐き気、腹痛、空腹感、むかむかする
手・足	関節の痛み、アキレス腱の痛み、はれ、うまく歩けない、歩けない、手足のふるえ、羽ばたくような手のふるえ、手足のこわばり、足のしびれ、手のしびれ、脈が速くなる
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる、はれ、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、じんましん、かゆみ、発疹、皮下出血
筋肉	筋肉の痛み、筋肉の疲労感
便	血が混ざった便、下痢、血の混じった下痢、頻回な下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿がでない、尿が褐色になる、血尿、褐色尿、赤褐色尿
その他	判断力の低下、気を失う、出血しやすい、出血がとまりにくい、陰部の痛み、気分が落ち込む、不眠、気分がふさぎ込む、やる気がおきない

【この薬の形は？】

販売名	レボフロキサシン錠 250mg 「F」	レボフロキサシン錠 500mg 「F」
PTP シート		
形状		
長径	13.7mm	18.4mm
短径	6.6mm	8.3mm
厚さ	4.2mm	5.2mm
重さ	339.6mg	674mg
色	黄色	うすいだいだい色
識別コード	FJ66	FJ67

【この薬に含まれているのは？】

販売名	レボフロキサシン錠 250mg 「F」	レボフロキサシン錠 500mg 「F」
有効成分	レボフロキサシン水和物	
添加物	結晶セルロース、カルメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、タルク、酸化チタン、カルナウバロウ、黄色三二酸化鉄	結晶セルロース、カルメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、タルク、酸化チタン、カルナウバロウ、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かない所に保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<http://www.fujipharma.jp/>)

学術情報課

電話番号：076-478-0032

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）